



白萩

学校だより「しらはぎ」

令和6年 1月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 中山恵施

新春を迎えて

校長 木下美彦

今年の干支は辰です。十二支で唯一想像上の生き物である辰は、中国では天に昇るということで成功や発展の縁起の良い生き物であると言います。辰に似ているということでタツノオトシゴを探しに年末、しながわ水族館を訪ねました。色や体の表面の突起など、タツノオトシゴは、そっくりな種類が多く種類を決めることが難しいそうです。その中で「ヒメタツ」に目が止まりました。

解説には、「日本海側に分布するタツノオトシゴの頭部のトサカの突起が低い・背ビレの付け根に突起がある」という特徴から、別の種類ではないかと、日本と韓国の研究者が研究を進めてきた結果、新種と判明し、2017年10月に発表されました、とあり

りました。タツノオトシゴより体が小さく、お姫様を連想させることから「ヒメタツ」を命名された、とのことです。日本海にはまだまだ新種の生物がいることにも驚きました。

そして元日、大地震が発生しました。この度の令和6年能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。

始業式での講話の一部を引きます。「一年の計は元旦にあり」ということわざの由来にあるように、最初に計画や目標を立て実行できるように新たな気持ちを大切にしましょう。また、能登半島の大地震や羽田空港の航空機事故の報道を受け、私たちの生活は、生きることと一瞬で死を迎えてしまうという現実にあることを改めて感じさせられました。亡くなった方や避難所生活をしている方の思い、支援のため飛び立とうとして事故にあわれた方や御家族の思い、皆さんの中にも親戚や知人がいらっしゃるかもしれないと考えると気持ちが重くなります。私たちは、今後の救援や支援を見守るとともに、私たちにできることを考え、過ごしたいと思えます。

8日は成人の日でした。あきる野市の二十歳を祝う会に参列しました。今は18歳が成人ですが、20歳となった方々を改めてお祝いしました。代表の言葉には、コロナに翻弄された高校時代と現在を生きる決意が述べられていました。その姿を見て、皆さんのような若い人たちが、社会の変化をとらえ、これからの社会を築いていくのだと心強く思いました。

さて、3学期です。私たちにできることは、日常的な取り組みを通して自分を磨く努力をすることだと思います。今月、3学年は進路選択のための出願や受験が本格的に始まります。2学年は23日からスキー移動教室です。来月6日からは1学年のスキー移動教室です。できることを精一杯頑張りましょう。

日本列島には地殻変動による災害の脅威があります。「ヒメタツ」のような新種が見つけられるような生物多様性もあります。再生や発展を祈念して、これからも学校としてできることを考え、努めてまいります。今年もよろしくお祈りいたします。



ヒメタツ